

2000件以上の応募作品
「生まれ変わる」をテーマとした短編文学賞
「ひなた短編文学賞 受賞作品展」
2026年4月1日（水）より東日本大震災・原子力災害伝承館にて開催

フレックスジャパン株式会社（本社：長野県千曲市、代表取締役社長：矢島隆生）は、2026年4月1日（水）より、福島県双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館にて「ひなた短編文学賞受賞作品展」を開催いたします。会期は、2026年5月10日（日）までを予定しています。

「ひなた短編文学賞」は、2023年7月に双葉町で開業した衣料品リメイクのアトリエ「ひなた工房 福島双葉」の開業記念企画として誕生しました。2011年3月に発生した東日本大震災および原発事故を経て、“新しい町づくり”が進む双葉町と、思い出の詰まった衣服を新たな形へ生まれ変わらせる「ひなた工房」。両者に通底する「生まれ変わる」という想いを重ね合わせ、作品を募集してきました。

2025年に開催した第三回では、全国から800作品を超える応募が寄せられ、過去最多となる24篇の受賞作品が選出されました。本展では、全三回の受賞作品のうち大賞・双葉町長賞を中心に展示するほか、すべての受賞作品をまとめた受賞作品集を配布いたします。ひなた短編文学賞のこれまでの軌跡や、本文学賞を通じて生まれた様々な取り組みなど、作品と共にご覧いただける展示です。

また、同期間中・同会場では、ひなた工房 福島双葉による「[おもいでふたばのがっこうふたば制服ギャラリー](#)」を開催。双葉郡の中学校の制服がぬいぐるみサイズに生まれ変わり、一同に展示されます。詳細は、「ひなた工房HP」をご確認ください。



会場では過去三回分の受賞作品集を配布



受賞作品の作中に登場する、ワイシャツをリメイクしたウェディングドレスも展示

■ 開催概要【ひなた短編文学賞受賞作品展】

- 会期：2026年4月1日（水）～ 5月10日（日）
- 会場：東日本大震災・原子力災害伝承館エントランスホール
- 住所：〒979-1401 福島県双葉郡双葉町中野字高田39
- 開館時間：9:00～17:00（最終入館16:30）
- 休館日：火曜日（火曜祝日の場合は翌平日）
※ 4月4日(土)～6日(月)は臨時休館、GWの5月7日(木)は開館
- 料金：入場無料 ※常設展示エリアへの入場は有料となります。
- 主催：フレックスジャパン株式会社

<本リリースに関するお問い合わせ先>

フレックスジャパン(株) コミュニケーションデザイン部 担当：小林
TEL：026-261-3000 / MAIL: seiyak@flexjapan.co.jp